



令和5年度

太田小だより 5月号

【学校教育目標】

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

さいたま市立太田小学校
 令和5年4月25日（火）発行
 全校児童数576人



住所 さいたま市岩槻区仲町1-17-3
 電話 048-756-0515
 FAX 048-758-7487
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



自尊意識・自己肯定感について

校長 田波 巨士

先日は、御多用の折、授業参観・懇談会、引渡し訓練に御参加いただきまして、誠にありがとうございました。この4月から、文科省のガイドラインに基づき、本市においても「さいたま市学校教育活動マニュアル」が改訂されました。5月8日から、新型コロナは、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行し、それに伴い出席停止期間の基準については、発症の翌日から5日間となるようです。5類に移行したからといって、感染リスクはゼロにはなりません。感染状況に応じて柔軟に対応し、リスクを低減させながら、学校の教育活動を継続することが大切です。御家庭におかれましては、引き続き、お子様の体調管理に御協力いただきますようお願いいたします。

さて、4月中～下旬にかけて、6年生が全国学力・学習状況調査を実施しました。教科の調査の他に、「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」を実施しました。質問紙調査の中に、自尊意識（自己肯定感）に関する質問があります。「自分には、よいところがあると思う」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」が主な質問内容です。令和4年度、昨年度の6年生の本校の結果については、下の表のとおりです。数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の肯定的な回答の割合です。本校は、市の平均と同等または少し下回る項目があるといった結果でした。さいたま市の子どもたちは、全国平均と比較して、自尊意識（自己肯定感）が高いといえます。

| 質問 | 全国 | さいたま市 | 太田小 |
|----------------------------|-------|-------|-----|
| 自分には、よいところがあると思う。 | 79.3% | 88.4% | 84% |
| 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。 | 87.2% | 92.8% | 91% |
| 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 | 72.5% | 80.1% | 72% |

自己肯定感とは、自分自身に満足をしていて、自分のことを肯定的に思える感覚のことをいいます。自己肯定感が高い人は、ポジティブに物事に挑戦することができ、失敗してもめげずに試行錯誤しながら解決に向かっていくことができます。また、自分や周りの人のことを尊重できるため、コミュニケーション能力が高く、他の人とよい関係を築くことができるようになります。また、自己肯定感とは、子どもたちが将来さまざまな困難や問題を乗り越える力を蓄える土台となります。土台が安定している子どもは、自分で問題解決の方法を考えて、試行錯誤しながら行動できるようになっていくでしょう。変化の大きい今の時代に、自分らしく自信をもって生きていくためにも、自己肯定感をはぐくんでいくことは、とても重要なことであると考えます。

私は、太田小学校の子どもたちには、自己肯定感を高めてほしいと願っています。もちろん本人の特性があると思いますが、我々大人による子どもたちへの接し方でも変わってくると考えています。子どもの話を最後までしっかり聞いてあげる。子どもに選択してもらう。何かを決めるときに子どもに考えてもらう。他の子どもと比較しない。子どもが失敗しないように先回りして準備し過ぎない・・・などです。自己肯定感が高いことは今後の人生の多幸感にも影響します。

私は、「自分自身が好きである」と公言するのは少しはばかられますが、好きなこと・やりたいことをしている自分自身を肯定的にとらえています。子どもたちにもそのような経験を感じてもらいたいです。子どもたちが「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在」と感じ、成長していけるよう、太田小学校では、挑戦する意欲を認め、褒め、助言し支援してまいります。